

KANAGAWA



社団法人 神奈川県建築士事務所協会

URL <http://www.j-kana.or.jp/>

E-mail info@j-kana.or.jp

2013 年
2 月号

VOL.376



オフィシャルウェブサイト (会員ページ) 情報

○会報「KANAGAWA」をフルカラー
で掲載中

○会員ページへは会員番号でログイン
してください



目 次

①② 建築探訪

③ 会員作品紹介

④ 歴史的建造物を訪れて

⑤⑥ シリーズ
町並み散策 ぶらり in 神奈川

⑦ 法定団体と日事連の活動について
支部だより（横浜支部）

⑧ 年末合同役員会開催報告
平成25年三合同賀詞交歓会開催報告

⑨ 会員の広場
旅のクイズ

⑩ 事務局便り
編集後記

建築探訪

前川國男邸

横浜支部 高橋 保博

JR中央線「武蔵小金井駅」からバスで5分ほどのところに「江戸東京たてもの園」があります。江戸時代から昭和20年代までに建てられた住宅・店舗・旅館・銭湯などが復元移築されています。

その中に ル・コルビュジエの「弟子」であり日本モダニズム建築の旗手と言われた建築家 前川國男の自邸があります。前川國男は東大を卒業すると同時にフランスに渡り、ル・コルビュジエの事務所で働きました。

2年後に帰国しましたが時代は戦争の足音が迫りつつある時代でした。そして、1941年に太平洋戦争が勃発しました。この家は、その開戦の翌年に建てられたものです。



居間吹抜け

ロフトがあるのですが、安全上の理由から上ることができません。上から見下ろすと空間の豊かさをさらに感じられると想像しました。ロフトにはベッドがあるということですが、やわらかな光の中でのまどろみはさぞかし心地良いことだと思います。



南側外観

一見和風のこの家には、モダニズムの精神があふれています。切妻の大屋根の下におおらかな空間が広がっています。吹き抜けの居間は南側の大きな窓から燦々と光がさしてきます。非常に解放感にあふれた明るい空間になっています。北側も大きなハキ出し窓で、開放すると風が吹き抜けていきます。居間が南側と北側の庭をつなぐ路の役目をはたしています。



ロフト

戦時中、「木造建物建築統制規制」という法律により新築の家の大きさは延床面積100平方メートルまでと決められていました。居間の吹き抜けやロフトはいかに部屋を広く見せるかと挑戦した結果だと思います。「たてもの園」のデータでは延床面積が108㎡とありますので少し増築したのでしょうか詳しいことはわかりません。

空襲で銀座にあった事務所が焼失したため一時、事務所として使われたそうで当時の写真が展示されています。すべてが手書きの時代です。製図板、T定規、三角定規を見ることができます。図面も白抜きの青図です。



臨時事務所時代（居間）

住宅を見学するのは機会がなくて難しいものですが、ここでは自由に空間を楽しむことができます。生活感がないのは否めませんが、その空気を吸うことはできます。戦時下で建材の入手に苦労したようですが豊かな生活を実感できます。



寝室から南側庭を望む



食堂から南側庭を望む

居間では、あまりに居心地がいいのか見学者が居ついてしまい、人のいない画像を撮ることができませんでした。

建物概要

所在地……………（旧所在地）東京都品川区上大崎
（現所在地）東京都小金井市
小金井公園内

構造・規模…木造2階建

建築年代………1942年（昭和17年）
1996年（平成8年）移築

設計……………前川 國男

施工……………不詳

建築面積………94㎡

延床面積………108㎡

表紙のことば

前川國男邸は70年前に建てられたとは思えないほど色あせない新鮮な印象を与えてくれました。時代を超越するということは、こういうことを指すのでしょうか。

会員建築作品紹介

「住・緑・家」コンペ 沖原邸 竣工報告

横須賀支部 小泉 厚

神奈川県建築士事務所協会と神奈川県木材業協同組合連合会との協同事業である、「住・緑・家コンペ第8号物件」に当選させていただきました沖原邸の竣工を報告します。

今回のコンペは「住・緑・家」登録事務所の公募ということもあり、いかに明確なコンセプトで表現し、具体化させるかということが重要でした。

テーマとして「密集市街地の中で家族がいかに周囲に気兼ねなく愉しく長く暮らせるか」を掲げ、また、設計と条件よりメインコンセプトを「五感で愉しむ快適空間」とし、家族が五感を研ぎ澄まし、みんなが集う「すまい」づくりを提案させていただきました。

実施設計そして現場が始まりましても沖原様のご理解のもと、当初に掲げたコンセプトに大きな変更はなく、地元の「木」を使うこ

とで嗅覚や触覚を研ぎ澄まし、健康的で安らぎのある生活空間が提供できました。また、長く住み続けるために提案したスキップフロアーによる使いやすい床下収納や、大きな小屋裏収納が空間に変化をもたらし、愉しく長く暮らせる住宅とさせていただきました。

最後に施主の沖原様、施工を担当しました株式会社長森建設様、そして神奈川県建築士事務所協会及び神奈川県木材業協同組合連合会の方々にこの場をお借りして深く御礼申し上げます。

構 造 材：神奈川県品質認証材

主な造作材：神奈川県産地認証材

「神奈川の住まいと森林づくり支援事業補助金」利用

3



1階みんなのリビング…松の梁表し、床は松縁故板



6寸柱の2階プライベートリビング



外 観



玄関廻り…木製防火玄関扉



2階和室…県産松合板の格天井



2階洗濯室

～歴史的建造物を訪れて～

Vol.55

東京大学（赤門・安田講堂）

横浜支部 佐藤 光良



東大赤門

東大赤門はご存知ですね。でも実際潜ったことのある方は意外と少ないのではでしょうか。以前取材していたことがあるのを知っていた事務局のSさんの依頼でご紹介します。

現在の本郷キャンパスに、江戸時代かつての加賀藩前田家の江戸上屋敷がありました。加賀藩十三代藩主前田斉泰が十一代将軍家斉の側室の娘で第二十一女の溶姫(やすひめ1813年生)を1827年(文政10年)正室に迎えることになりました。

将軍家斉は14歳で将軍についた後、在職50年の徳川将軍最長記録の持ち主で、もうけた子供は男子26人女子27人とのこと。但し約半数は幼い内に死去しています。

さて江戸時代、三位以上の大名に嫁いだ徳川将軍の息女を御守殿と敬称しました。正室に迎えるに当たり、正室の住む屋敷も御守殿と呼び、その屋敷の門を御守殿門といい、門を朱の丹塗(にぬり)にしたことで赤門と呼ばれるようになりました。赤門は焼失した後は再建を認められないために、東大赤門は非常に貴重な財産となって現在まで残されています。表門は黒門と称したそうです。

建築様式は、写真のように切妻作りの薬医門で、左右に唐破風の門番の為の番所がついてい

ます。屋根棟瓦には葵の御紋軒瓦には前田家の家紋梅鉢がついています。1877年東京大学に移管され、昭和36年解体修理され有形重要文化財に指定されました。赤門を含め東大には合計8つの門があります。

同じキャンパスに東大のもう一つのシンボルに、正門(伊東忠太設計・国登録有形文化財1912年竣工)の正面にすっと立っている東大安田講堂があります。基本設計は後の東大総長の内田祥三、弟子の日出刀がその後を担当して竣工しましたが、起工が大正10年。関東大震災にあったために、竣工は大正14年7月6日になってしまいました。

(※着工は大正11年12月の説もある) 施工は清水組(現清水建設) 延床面積2,115坪、地下1階地上7階、高さは39.7m。収容人数は1,144名。昭和43年の70年反安保闘争で荒れていた講堂を、昭和63年と平成6年に改築し、平成8年12月20日に国登録有形文化財に指定されました。現在は卒業式や学位記授与式などで使用されています。嘗ての安田財閥安田善次郎の匿名条件の寄付で建設されましたが、善次郎が暗殺されたために遺徳を偲び安田講堂と呼ばれるようになりました。貫禄は流石です。スクラッチタイルの外壁が歴史を感じさせます。



安田講堂

町並み散策ばらり in 神奈川 ~鎌倉の自然に触れる旅



5



バス停は「横浜霊園前」(神奈中バス)



いきなり長い階段が待っています。



階段を上りきって天園ハイキングコースに向かいます。



少々急坂になります。足腰の弱い方はこの地点で戻るか、ルートを変更してください。



倒れた木はそのままです。ロープがすぐかかります。心の疲れている方は注意してください。



ロープが用意されていますので登ります。スカートの女性はこの地点でギブアップすることになります。



建長寺法室(重要文化財)です。



建長寺仏殿(重要文化財)です。



建長寺山門(重要文化財)です。

横浜自然観察の森から北鎌倉まで尾根づたいに歩いてみませんか？

神社仏閣以外の鎌倉の自然に触れてみましょう。（北鎌倉駅まで3～4時間）



途中、小さく狭い切通しが数か所出てきます。（鎌倉時代の名残り）



ここまで歩くと冬でも少し暑くなります。峠の茶屋で一休み。



鎌倉カントリーの近くを通過します。（この地点に公衆トイレがあります）



左側を通って、足が滑るとがけ下へ落ちます。



やっと建長寺の裏へたどり着きました。



右手に小規模ですが竹林が出てきます。



観光客のために足固めや貫を撤去したために東北震災の時に柱が少しずれた様子です。

横浜自然観察の森に入るには、幾つかのルートがありますが、今回は神奈中バス停の横浜霊園前から入りました。横浜市の歩道は、桜のチップが敷きこまれ、手摺も施されてよく整備されていますが、鎌倉市に入ったとたんに、殆ど手を加えた様子もなく、ハイキングコースと呼べるか疑問に思います。鎌倉市役所に問い尋ねてみたところ「鎌倉の自然を満喫してください。」とのことでした。

法定団体と日事連の活動について

会長 上原 伸一

当会は建築士法の第27条の2の建築士事務所協会という文字を用いる団体、つまり法定団体として位置付けられています。この条文については、先の建築士法の改正に於いて追加されたもので、これは日事連がこれまで取り組んできた業の確立に向けた活動の成果（指定法人化を経て法定団体化へ）と捉えることができます。

そしてこの法定団体としての役割として、建築士事務所の業務の適正化と消費者保護が求められ、開設者及び属する建築士への研修や苦情解決業務の実施が義務付けられています。

一方、我々の上部団体として全国の事務所協会を束ねる日事連も法定団体として位置付

けられ、各都道府県で一つの法定団体（既設の建築士事務所協会である単位会）を会員資格として定めています。

現在日事連と各単位会は、この法定団体の立場を後ろ盾とし、現行の建築士法では難しい複雑で分かり難い建築士事務所の実務の問題点を解決するために、法整備の新しい提案として建築士事務所法の成立に向けた取り組みを行っています。

また、建築設計・監理業の確立並びに社会的信頼の確保と地位向上を目指し、このような新たな取り組みを実現するためには、組織化と大きな力を得るための会員増強は重要かつ喫緊の課題となっています。

支部だより 震災時の協力に関する協定を締結しました

横浜支部長 小渡 佳代子

横浜支部は横浜市が市内の建築設計団体と連携し、震災時にいち早く無料建築相談を始める協定に1月15日締結しました。この協定は、地震災害時に市民の生命の安全及び安心を確保するとともに、被災建築物の早期再建を推進するため、要請される応急支援等に関する協力についてあらかじめ必要な事項を定めたものです。内容は

- 一 震災建築物応急危険度判定士の参集要請に関すること
- 二 被災建築物の建築相談に関すること
- 三 被災建築物の被災認定調査の技術的支援に関すること
- 四 前各号に関する訓練の実施及び知識の習得に関すること

特に建築相談に関する項目について、これは東日本大震災の教訓から「このまま住み続けて危険が無いか」「どのように修理したらよいか」などの相談にいち早く対応するため、

あらかじめ協定を締結し震災後速やかに区役所や身近な場所に専門家による建築相談窓口を設置し、市民の安心を確保し早期の再建へつなげ対応していこうというものです。東北大震災後、東南海地震等の確率も高く修正されています。「みらいふれあいフェスティバル」の横浜支部ブースでは、関東大震災の記憶パネル展示し、その被災を再認識したところでした。この協定が実行されないことを願うばかりですが「備えあれば憂いなし」これから連絡訓練の実施等も行いう予定です。ご協力の程お願い申し上げます。



締結式の様子（根岸副支部長、小渡支部長、坂和建築局長）

年末合同役員会開催報告

昨年、12月13日横浜市開港記念会館9号室において、委員長会、正副会長会、理事会、年末合同役員会が開催されました。委員長会及び理事会の概要は以下の通り。

【委員長会】

出席 12名（事務局2名）

議題 各委員会の平成25年度事業計画案及び予算要求案について 他

【理事会】

出席 23名（事務局4名）

議題 会員（12月）の入会について承認を求める件

定款施行細則の改正について承認を求める件 他

※詳しい議事内容につきましては、ウェブサイトの

会員ページ内に議事録を掲載しております。

年末合同役員会では、上原会長が昨年の6月に日事連のワーキンググループにおいて報告書が作成された「（仮称）建築士事務所法」の概要についての説明を行いました。建築士事務所の業の確立に向けたこれまでの取組みの経緯や事務所法の必要性、基本的な考え方、期待される効果、そして、実現に向けての課題といった説明の後、支部などでも広く周知をお願いしたいと結ばれました。

なお、報告書をまとめた「（仮称）建築士事務所法の提案」という冊子を昨年11月に会報に同封し送付いたしております。今一度、目を通していただき、ご意見等がございましたら、事務局までお寄せいただければと存じます。

平成25年三会合同賀詞交歓会 開催報告

1月18日（金）に、（社）神奈川県建築士事務所協会、（社）神奈川県建築士会、（社）日本建築家協会関東甲信越支部神奈川地域会による三会合同新春賀詞交歓会が横浜・ホテルキャメロットジャパンにて開催されました。建築・設計界の交流を深め、業界のよりよい変革のためという趣意でスタートした、この三会合同賀詞交歓会は今回で4回目の開催となり、新春の行事として会員の皆様にも定着してきたことと思います。

こちら恒例となりつつある大和綾瀬支部相原様のバリトンの歌声とともに幕を開け、来賓である黒岩祐治神奈川県知事からは「県内の建物の耐震化の促進、そして、県有施設について空中権という考え方を活かした施設の集約化など新しいアイデアを元に見直しを進めていきたいと考えている。そのためには、建築団体のみなさんの協力と力添えをお願いしたい。」とのご挨拶をいただきました。

その後、上原会長から乾杯のご発声があり、会場は和やかな歓談の場となりました。



黒岩神奈川県知事



上原会長による乾杯のご発声

会員の広場

絵を描くことに癒されて

県西支部 諏訪部 敏夫

思えば、子どもの頃から絵が好きで少し得意でもあり、それが建築設計の世界へと飛び込むきっかけとなったのです。そして、振り返ると50年余りの人生を建築設計一筋に頑張ってきました。

5年ほど前、60歳半ばで水彩画の筆を持ち始め、これからの人生に一つの生き甲斐を感じ取るものに会いました。

月3回定例の絵画会では、スケッチグループの仲間と天気の良い日は野外スケッチ、雨天の場合は室内での静物画を描いたりします。

会社を定年退職した人、子育てが一段落し残りの人生を楽しもうとしている人など顔触れは様々ですが、みんな絵を描くことが大好きです。眺めた風景をいかに白い画用紙に表現するか、絵は自分の感覚で表現することができます。描きながら感じる四季折々の自然

界の様子、時には学校帰り子どもたちに囲まれて会話し、心の癒される時間を楽しんでいます。

私が描いた絵を一点紹介します。酒匂川サイクリングコースで大山方面をスケッチしました。正月が過ぎ、丹沢山にそろそろ雪が降り積もり始める頃の風景を描きました。



雪化粧を纏い始めた丹沢山

9

旅のクイズ 第31回

問題

幕末の風雲児として活躍した人物の伴侶が眠る横須賀の寺院の名称は何でしょうか？

ヒント：福山雅治

答えをメールまたはFAXにて神事協事務局までお寄せ下さい。正解者の中から抽選で御一人に1000円の図書券を差し上げます。

(FAX: 045-212-3807/

E-mail: sakamoto@j-kana.or.jp)

※締め切り：平成25年2月21日（月）

当選者は3月号にて発表予定です。

※広報情報委員と事務局員及び家族の方のご応募はご遠慮ください。

前回は、残念ながら当選者はいらっしゃいませんでした。

正解：相州三浦総鎮守「海南神社」（三浦七福神の第三番札所：弁財天）



会員異動報告	
退会	
横浜支部	
有限会社山平建築設計事務所	山平 晴久
変更	
川崎支部	
木津建築設計 (TEL・FAX変更) TEL.044-567-3748 FAX.044-567-3748	
アルファ・デザイン (事務所名変更) 一級建築士事務所アルファ・デザイン株式会社	

●事務局からのご案内●

○書籍の販売について

事務局では、建築関係書籍、書類、看板等の販売を行っております。

<主な取扱商品> (会員価格／一般価格)

●四会連合協定 建築設計・監理等委託契約書類
(¥900／¥1200)

●神奈川県構造関連取扱い基準集 2012年版
(¥1470／¥1890)

●神奈川県 都市計画法 開発許可関係実務の手引き
平成23年度版 (¥3150／¥3675)

●机の隅に-建築実務ガイドブック-平成23年度版
(¥2000／¥4000)

●【会員限定】神奈川県建築基準法取扱い基準集
(¥1200／なし)

●建築計画のお知らせ表示板 横浜市内
(¥1470／¥2100)

●建築計画のお知らせ表示板 横浜市以外用
(¥1470／¥2100)

●建築確認済板 (¥210／¥294)

その他、多数商品を取り扱っております。また、通信販売(送料¥600)もご利用いただけます。詳しくは、ホームページ「書籍等の販売」をご覧ください。

2月の行事予定

2月1日	「耐震診断・耐震改修設計(鉄鋼造編)」実務講習会 会場:神事協会議室
5日	広報情報委員会
6日	「神奈川の木を知って、使おう!」バス研修会 会場:松田、相模原、厚木
7日	総財務委員会
	JW-CAD(Excel編) 会場:東部総合職業技術校
12日	「裁判事例に基づき調査及び報告書のまとめ方について」研修会 会場:県民ホール
13日	JW-CAD(Excel編) 会場:東部総合職業訓練校
14日	正副会長会 理事会
15日	企画業務委員会 設計監理指導「家づくりセカンドオピニオン・企画業務(マンション部会)合同委員会
16日	「最先端医療・病院建築とホキ美術館」バス見学会 会場:千葉県
19日	景観まちづくり特別委員会
20日	「住・緑・家」運営特別委員会
21日	技術調査委員会
22日	「新規開設建築士事務所」講習会 会場:神事協会議室
25日	管理建築士講習 会場:神事協会議室
26日	ブロック支部委員会
28日	JW-CAD(日影&天空率編) 会場:東部総合職業訓練校

会 勢

平成25年2月1日現在

支部名	平成24年3月末日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	274	250	30	54	-24
川 崎	97	101	8	4	4
横 須 賀	51	52	2	1	1
湘南三浦	18	18	0	0	0
藤 沢	23	24	2	1	1
鎌 倉	35	37	5	3	2
茅ヶ崎寒川	18	18	1	1	0
平 塚	21	23	2	0	2
伊 勢 原	8	8	0	0	0
秦 野	18	18	0	0	0
大和綾瀬	20	21	2	1	1
厚 木	36	35	0	1	-1
座 間	13	12	1	2	-1
海 老 名	14	15	1	0	1
愛 川	7	8	1	0	1
相 模 原	83	82	2	3	-1
県 西	44	48	4	0	4
合 計	780	770	61	71	-10
賛助会員	72	79	10	3	7

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。

編集後記

新年、あけましておめでとう。明るい期待できそうな夢をさぐってみる。

最近、我が国では昔からの建築材料である木材の利用が盛んに語られている。森林面積は国土の67%が可能すでに存在している。コスト面で、輸入材に活路を見いだしているが、地元県内でも、県産材の利用を盛んに進めている、しかしまだ取り上げられる事例は少ない現状である。昔は、秋田の杉、青森のひば、吉野の杉、木曽の檜、等、住宅の建築に盛んに使われてきた。コスト面での、経済上の算定に向かなくなったのではないかと思う。ちなみに、伊勢神宮では、造営に利用する神木育成のため、地域領内に造林事業を図って将来のため、大木確保のための長期計画を進めている。いずれにせよ、将来、建築材料の資源枯渇の面から、国土環境と自然により有機的に生成できる木材資源に夢を託し着目したいと思う。

(平塚支部 新倉 良一)

本誌掲載記事の内容は執筆者本人の見解において記述・掲載をしております。神事協としての見解ではございませんのでご了承下さい。

かながわ 平成25年2月号(通号376号)

発行 平成25年2月1日(毎月1日発行)
発行人 上原 伸一
発行所 社団法人 神奈川県建築士事務所協会
〒231-0032 横浜市中区不老町3-12
第3不二ビル2F
TEL. 045-228-0755
FAX. 045-212-3807
印刷所 株式会社 柏苑社

担 当 副 会 長 芝 京子
: 広報情報委員長 佐藤 光良
: 広報情報副委員長 内藤 隆之
: 広 報 情 報 委 員 恩田 耕爾 北野 義夫
: 小泉 厚 杉崎 雅治
: 高橋 保博 竹尾 秀一
: 新倉 良一
: 坂本 歩美
事 務 局

町田市・多摩市・稲城市・八王子市・日野市へ

4月1日より業務エリア拡大予定

湘南建築センターは業務エリアを拡大しお客様の利便性向上を図ります。

SBC 新業務エリア

拡大エリア



おかげさまで
10周年
確認実績
65,000件
これからもよろしく
お願い致します

- ◎迅速で確実な審査を致します。
- ◎WEBによる申請がご利用いただけます。
- ◎電子メールによる事前審査受付を行います。
- ◎郵送による確認申請書の受付・交付を致します。
- ◎検査予約は電話・FAXで3日前まで受付致します。

Advanced
Service

WEB申請
利用登録
受付中

WEBで申請

SBC E-ACCESS WEB
APPLICATION SYSTEM

業務に関するお問合せ
0463-22-0332

本社(平塚)

〒254-0035
神奈川県平塚市宮の前13-3
電話.0463-22-0667(代表)
検査予約専用ダイヤル
電話.0463-22-0704 FAX.0463-22-0691
確認審査部直通ダイヤル
電話.0463-22-0311 FAX.0463-22-0884
住宅部直通ダイヤル
電話.0463-22-0671 FAX.0463-22-0869
総務部直通ダイヤル
電話.0463-22-0332 FAX.0463-22-0334
●営業時間/9:00~18:00(昼休12:00~13:00)
●定休日/土曜・日曜・祝日・祭日・年末年始
[JR東海道線平塚駅より徒歩6分]



Speedy

横浜支店

〒220-0004
神奈川県横浜市西区北幸2-6-1横浜A Pビル 7階
電話.045-548-6606 FAX.045-548-6626

- 営業時間/9:00~18:00
(昼休12:00~13:00)
- 定休日/土曜・日曜・祝日・祭日・年末年始
[横浜駅みなみ西口より徒歩5分]



駐車場
完備



建物道路沿いに10台、別に臨時駐車場有ります。
詳しくはホームページをご覧ください。

駐車場
完備



ビル、西側の「横浜OBS北幸C駐車場」をご利用ください。
駐車料金は当社が負担いたします。(当初30分間)



株式会社 湘南建築センター
<http://www.sbc-co.jp/>

問合せ先 営業部 0463-22-0332